

## ①活動概要

松並木の美しい風景を保全するため、倒木発生の予防や立ち枯れなど危険木の状況を定期的に点検。危険と判断された危険木は道路管理者に報告し、道路管理者が危険木の伐採を実施。

(平成18年度より実施)

- ・危険木の点検
- ・点検活動を円滑に進めるための点検路の手入れ

## ②活動の体制

主体

巢子の松街道（PS）

## ③苦労した点や工夫した点

## 【苦労した点】

- ・松並木を構成している多様な草木には、周囲の開発で消えていった原野生の植物が残されており、見かけを良くするだけの単純な刈払い作業は不適切であり、並木の手入れ作業の際は十分な配慮が必要。

## 【工夫した点】

- ・危険木の判定法などの専門的知識の習得が難しいため、樹木医を講師にした勉強会を行い、危険判定を簡易な測定と略図で記録する「点検シート」を作成して対応。
- ・点検シートは、会員の普及・啓発のための材料として活用。

## ④活動の効果

- ・並木の点検や観察会などの活動を行うことにより、ゴミなどの不法投棄が減少
- ・危険木除去の早期対応
- ・保全された環境緑地と松並木が調和した空間の創出

## ⑤今後の活動

- ・冬季に危険木の点検、春～秋に手入れや観察会などを継続的に実施
- ・また、点検路の拡大等にも取り組む予定
- ・広く一般の方々にも巢子の松街道の価値を知っていただくため、歴史資源としての松街道の解説ボードやビューポイント標識の設置などを進めることとしている



▲国道への倒木



▲手入れされていない並木



▲並木危険木点検を、パートナーシップで実施することにより、伐採作業の早期対応が可能。



▲伐採木はチップ化し点検路に敷設、フットパスとしての利用も可能となり、また、ゴミの散乱もなくなった。

『巢子の松街道』は、「鹿角街道(盛岡～鹿角)」の並木として作られ、約400年の歴史をもつ。

岩手県の環境緑地保全地域、盛岡市の盛岡百景に指定されており、国内第一級の規模の松並木と岩手山が調和して、雄大な景観を形成している。



問合せ先 巢子の松街道パートナーシップ事務局 担当 浅沼  
電話: 019-688-5271(浅沼セイゴ 方)